

# 平成17年度事業計画

## 競技力向上委員会（委員長：箱守 康之、副委員長：後述）

JSAF ゴールドプランに基づき、中長期一貫指導体制確立のための諸事業を継続して推進する。

事業実施に当たってはオリンピック特別委員会、医事・科学委員会、国際委員会を中心として JSAF 関連各委員会および、学連、高体連等の各階層別連盟、各都道府県連盟、各艇種別協会等と密接な連携を保ち、ジュニア・ユースの育成強化および指導者養成プログラムの確立を二本柱として以下の事業に取り組む  
なお、委員会には以下の5グループ(各グループ責任者は委員会副委員長)を設置、業務分担の明確化と効率運営を目指す

### 【グループ】

グループ名	責任者（委員会副委員長）
1. 強化事業 G	松山 和興(JOC ジュニアコーチ)
2. 総括 G	山田 敏雄
3. 指導者養成 G	斎藤 威
4. 発掘・育成 G	青山 義弘

## 平成17年度事業計画

### 1. ジュニア・ユース競技力向上事業

#### (1) 海外派遣事業

- ア. 2005年度ワールドユース選手権大会派遣  
2005年7月14日～23日 韓国 釜山
- イ. 470ジュニアワールド選手権大会派遣  
2005年7月23日～31日 ロシア
- ウ. ユニバシアード大会派遣  
2005年8月11日～21日 トルコ イズミール

#### (2) 国内強化事業

- ア. 2006年度ワールドユース派遣候補選手強化合宿兼代表最終選考  
2006年4月28日～4月29日(佐賀県唐津)
- イ. 2006年度ユースナショナルチーム認定  
2005年9月開催 JSAF オリンピックウィーク、JOC ジュニアオリンピックカップ  
および競技力向上委員会、艇種別協会の推薦により決定
- ウ. 同ナショナルチーム強化合宿  
2006年3月中旬  
東日本: 静岡県三ヶ日青年の家ヨットハーバー  
西日本: 佐賀県唐津ヨットハーバー
- エ. 海外ユースコーチ招聘  
上記ウ. 強化合宿時に招聘を予定
- オ. 2005年度ワールドユース選手権大会派遣選手の強化合宿  
2005年6月7日～12日(逗子) レーザー級 NT 強化合宿に参加

#### (3) 大会およびクリニックの開催

- ア. JSAF オリンピックウィーク

2005年10月19日～23日 神奈川県江ノ島  
イ.ジュニアオリンピックカップ(JSAF ユースチャンピオンシップ)  
期日、場所(佐賀県唐津)

(4)その他

ア.ジュニア・ユース有望選手発掘

全国高等学校選手権(インターハイ)、ジュニアオリンピックカップ、全日本大学選手権  
およびOP全日本選手権大会時に将来性を有する有望選手の発掘を行う  
各年齢層の有望選手データバンクの整備(全国対象)

2.国際ナショナルカテゴリーの推進

- (1)世界の基準に合致した年齢別カテゴリー(Under15、Under19、Under22、Over22)の推進と  
トレーニングボート(艇)の多様化
- (2)カテゴリー別トレーニング手法の啓発

3.指導者マニュアルの完成と指導体制の確立

(1)指導者マニュアルの完成

2003年度作成に着手した指導者マニュアルの上半期中(9月まで)の完成

(2)指導者講習会の実施

2005年度JSAF主要競技会開催時(インターハイ、国体、オリンピックウィーク、OP全日本、全日本インカ等)に  
各指導者対象に対し上記指導者マニュアルに基づいた一貫指導システム研究会を開催

4.オリンピックウィークの開催

ジュニアからトップアスリートまでが一堂に会するJSAF主催の日本最大、最高の国際ナショナルレガッタ  
を目標に競技力向上委員会が責任を持って開催

5.医事・科学委員会と連携した医科学サポートの実施

(1)身体成長期のジュニア・ユースに対して以下のサポートを実施

- ア.医科学サポート
- イ.フィットネスサポート
- ウ.トレーニングサポート
- エ.栄養サポート

(2)アンチドーピング活動

有望選手発掘事業および地域指導者講習会時にアンチドーピング啓発活動を実施

6.その他

JOC強化拠点の認定(2005年5月;「静岡県立三ヶ日青年の家」認定)  
競技力向上委員会ホームページの整備と活用促進

以上